

多様な学びの場や支援の仕組み～帯広市教育委員会～

R8. 4

不登校の児童生徒のための相談や学習の場、保護者の方を支援する多様な制度やサービスがあります。

お子さんが学校に行きにくい状況等が続く場合や学習、生活に不安がある場合は、まずは、学校・教育委員会までご相談ください。

学 校



学校生活の悩みや児童生徒のペースに合わせた学習方法・サポート体制等についてご相談ください。学校内に相談室や落ち着いて過ごせる場所等があります。必要に応じて相談員やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーと連携し対応することができます。また、学校外の学びの機関や相談機関を紹介することもできます。

スクールカウンセラー

児童生徒の心のケアやストレスへの対処方法等心理の専門家で、教育委員会から学校に配置されています。公認心理師や臨床心理士などの資格を持っている方が多いです。

中学校を拠点に、生徒や保護者へのカウンセリングを行うことが主な仕事です。専門的な手法を用いて相談者の不安や悩みを共有しながら解決の方法を探ります。小学校での相談も可能です。

スクールソーシャルワーカー

児童生徒やその保護者に福祉・医療的な支援が必要な場合に、福祉の窓口につないでくれたり、手続きの補助などをしたりしてくれたりする福祉の専門家で、教育委員会から学校などに配置されています。

友人関係、親子関係など様々な人的な要因と、子どもや家庭が置かれている環境の両面に働きかけを行い、関係機関との連携を進めます。保護者や子どものカウンセリングを行うこともできます。

社会福祉士や精神保健福祉士などの資格を持っている方が多いです。

家庭訪問相談員

家庭訪問を中心に不登校の児童生徒や登校をしづり気味の児童生徒へ働きかけを行うとともに保護者の不安や子育ての悩み等について親身になって相談にのります。

心の教室相談員

小・中学校の相談室で「身近な大人」として、児童生徒の不安や悩みの聞き役に徹します。ご希望があれば、保護者の方もお話することも可能です。



相談については、子育てに関する悩みや友人関係など、保護者の方々のお話もお聞きできる体制を整えていますので、何かお聞きになりたいことがあれば、お気軽に担任の先生や教頭先生又は、知り合いの先生を通じてお子様の学校にご相談下さい。

教育委員会

教育相談センター

専任の教育相談員が友人関係や進学問題など、お子さんの教育に関する相談をお受けしています。



☎25-2595



教育支援センター 「ひろびろ」

自分で立てた計画に基づいた学習活動や自然体験学習や馬に触れる体験活動、図書館を利用した読書活動など、一人一人の状況に応じた支援を受けることができます。



「ひろびろチョイス」

デジタル技術を活用した学びのプラットフォームにより、不登校児童生徒の多様な学びの機会を確保することができ、自宅からオンラインで学ぶことができます。

